

# 令和6年度 英語研究会

開催日時：2024年11月8日（金） 14：30 ～ 16：20

会場：静岡県私学会館 5階大会議室

内容：講演 「使える英語の身につけ方」

～なぜ英語を学ぶのか、生徒の意欲を高めるために～

講師 木村達哉 先生

## ① 自己紹介

## ② GIGA スクール構想と AI の出現

- ・ COVID-19 が原因でタブレットを導入する中で、メリットとデメリットが存在  
文部科学省の指導により、ペアワークとグループワークは本当にやらなければならないのか。
- ・ タブレットを使ったからといって成績があがるわけではない  
↳紙でしていたことがタブレットでできる→省力化できるようになった

- ・ 英語力を上げるポイント（これができればよい）

音を暗記する

音の意味の知識（暗記）

英語を日本語にできる

ルールの理解

日本語を英語に戻せる

圧倒的な量

- ・ 語彙や表現の知識及びルール（文法や語法や文構造）の理解が必要

- ・ 努力しているのに、全然効果が出なければ、努力を続けるのは嫌になるのは当たり前。  
↳したがって、まずは「できる自分」を作ってあげて、もっとできるようになりたい！  
という気持ちにさせることが肝心。

- ・ AI の出現で大きく変化したのが、宿題と添削である。

### ・ 宿題

従来型の宿題（英文の全訳）などは AI の登場により、簡単に行うことができる。

自由英作文も自分でやってくるにすると、現代の技術を使ってしまうため授業で行う。

### ・ 添削

AI を使って行う。しかし、必ず複数の AI に文章のチェックを行うことが必要。

プロンプトの魔法の言葉は “Is this writing correct and logical?”

- ・ 木村達也先生が使用している AI

・ Google gemini ・ Chat GPT ・ Perplexity ・ Deep-L ・ Deep-L write

- ・ AI の登場により、言語を伝えることはとても簡単になった。

しかし、ビジネスやアカデミアの場で AI の機能を使うことは難しい。

そのため、聞くことや話すこと力をつける授業を作っていくことが重要である。

→リスニングの力がついてくれば、リーディングの力も必然的についてくる

→スピーキングの力がつけば、スピーキング以外はできるようになる

・勉強以前の問題としては、

① 生きるエネルギー

② 稼ぎたい欲

③ 勉強したい欲

これらのモチベーションが低い

・社会の知識がない→勉強しないとどうなるかわかっていない

・ハングリー精神の欠如→教員にはどうしようもない問題

・今後の日本の変化を予測していくと、就職先の企業の採用のポイントから外国の企業、大企業、中企業ぐらいまでの企業は学歴が

・実際に行っていた授業形式を行う。

・何か質問等があった場合は以下のアドレスに

e-mail: [kimutatsu@kimu-tatsu.com](mailto:kimutatsu@kimu-tatsu.com)

Line ID: kimutatsu129